

全 建
円滑なPFI事業参入へ
内閣府に8意見提出

全国建設業協会(全建、前田靖治会長)はこのほど、内閣府の民間資金等活用事業推進室に対し、前払金保証制度の活用や建設・改修事業者の入札参加資格要件の緩和など、中小・中堅建設企業がPFI事業に円滑に参入できるように現行制度の見直しを求める意見を提出した。

国、地方公共団体ともPFIを活用し始め、PFI事業グループに参加する全建会員企業が地方も含めて増え始めている中で、中小・中堅建設企業が参入する際の課題や問題点が、参加企業などから指摘されていることを受けてまとめたもの。

意見は①建設・改修業務を担当する企業の入札参加要件の緩和②実施法人の公表から提案(入札)までの期間の十分な確保③入札説明書(公募要領)などの記載内容の詳細・具体化④PSC(従来手法で調達した場合に、契約期間全体を通じて発生する公共コスト)やPFI事業のライフサイクルコストの公表徹底⑤提案(入札)費用負担の軽減⑥非価格要素を重視した事業者選定方法の導入(加算方式の推奨)⑦事前段階での補助金の確定・情報開示。各事業方式間の負担の公平性⑧前払金保証制度・金融保証制度の活用⑨の8項目。

このうち、提案費用の軽減化では、PFI事業に提案(応札)するだけでも多大な費用が掛かることを踏まえ、落札者(優先交渉権者)の選定を、簡易な1次審査と、実際の提案書を提出する2次審査の2段階に分ける「多段階選抜方式」で行うよう要望。また、落札できなかった応札者に対する返金制度の活用についても要望している。

内閣府では、PFI法の見直し方向などを検討している民間資金等活用事業推進委員会総合部会(部会長・山内弘隆一橋大学大学院教授)にこれらの意見を提出。総合部会では、今年6月をめどに、今後の方向性や効果的な活用施策の在り方をまとめる。

大工育成塾生・淵脇一樹さん
立派な大工へ実習開始

坂口サン建築

(坂口サン建築、鹿児島市)は、16年度大工育成塾において新規塾生1人をこのほど採用し、建築大工における道具の

使い方や木材の加工方法など中心とした現場実習を開始した。

同塾は住宅産業研修財団(松田妙子理事長)の主催で、国土交通省が支援する国家プロジェクトとして毎年実施されており、今年度の入塾生は全国で約100人。塾生が集合して行う教室講義や受入工務店の指導棟梁の下での現場修行を通じて、大工に必要な知識と技術を学び、次代を担う職人を育成することを目的としている。研修期間は3年間。

今回入塾したのは鹿児島市山田町の淵脇一樹さん(19歳)。高校時代はテニスでインタ



ーハイに出場するなど輝かしい実績をもって、建築会社を経営する父親の跡を継ぎたいとの一心で大学進学をあきらめ、この道に進むことを決意したという。研修2日目となったこの日は、新しく購入したのこぎり等の工具を手に終日現場にて坂口社長から手ほどきを受けた。「現場はイメージと全然違って、なかなか思うようには手が動かない。父にも早く認めてもらえよう。これから3年間、将来は人並みでなく、

手ほどきを受ける塾生
鹿児島市の作業場で
(上)1日行われた入塾式
東京都の東京コンファレンスセンター・品川

お父さんと先輩達を越えるような技術を身につけてほしい。ぜひ技能五輪にも出場してほしい」と期待を寄せた。

同塾では、木造軸組工法など日本の伝統的な木造住宅づくりを担う人材育成を目指し、近年普及している電動工具に頼らず、まずは建築大工の基本である手作業を中心とした指導から行うことを心掛けている。

鹿児島高等技術専門校入校式
17人が専門技術目指す

鹿児島高等技術専門校(校長 島村純男)は8日、鹿児島市の同校で16年度入校式を開き、木造建築科など7訓練科合わせて17人が入校し、専門職としての技能・技術の習得を目指し新たなスタートをきった。

入校式では、初めに校



記念写真に納まる新入校生ら
=鹿児島市の鹿児島高等技術専門校で

島校長が「当専門校は、共同訓練校として発足して33年、900人以上の先輩達が本校を修了され、それぞれの職種の事業に携わり県内外で活躍されている。専門の職業人と



新入生らと写真に納まる関係者
=鹿児島市の鹿児島インテリアスクールで

鹿児島インテリアスクール(田中明校長)は8日、鹿児島市の同校で16年度第13期生入校式を行った。

式では新入生紹介の後、田中校長が「今年度は次の時代を担う技能者が7人入校しました。今年度からCADの講習会や部屋の配置などの勉強を取り入れ、床や壁の技能者だけでなく、より幅広いコーディネーター的な技術者を育てたい」と式辞。安部武典室内装飾協同組合理事長も「初心を忘れずお互いが切磋琢磨し、技能習得を目指して必ず最後まで頑張ってください」と激励の言葉を寄せた。

続いて、来賓の川路幸博県商工観光労働部労働政策課長補佐らが「住民

技能士目指し切磋琢磨
鹿児島インテリアスクール入校式

情熱をもって仕事と訓練校での学習に精一杯努力して頂きたい」と激励したほか、来賓の富田輝男県職業能力開発協会専務理事らが祝辞を寄せた。

このあと、在校生を代表して表具科の小倉広喜さんが「お互いに励まし合い初志を貫いていくよう努力していきます」とと励ましの言葉を送り、入校生代表の鉄筋コンクリート施工科の中野健太郎さんが「この道を選んだことに悔いのないスタートを切り、皆さんの胸を借りて懸命に頑張ります」と誓いの言葉を力強く述べた。また、島校長から木造建築科の中崎

川龍二(南小正建具店)▽サッシ・ガラス施工科▽内牧隆志(池之原硝子建材㈱)江平道明(江平ガラス工業)

9001-14001
ISOコンサルティング
-お気軽にご相談ください!!-
今別府産業(株) ISOコンサルタント事業部
TEL (099) 813-2661